

## 第 12 回 多様な動きをつくる運動（遊び）部会記録

記録：荒川区立尾久宮前小学校 今泉 悠乃

《夏季合同研究会を受けて》

○協議会記録とアンケートの自由意見を受けて

- ・ B が一番多い。A と C が同じくらい。
- ・ 「評価の観点が曖昧だった」という意見や指導支援シートを個々に、授業中に使うという誤解について。
- 体づくり運動の B 規準はもっと易しい動きだということを示していく。  
それよりも、もっといろいろな動きを出させることが大事。
- 「(教師のための) 授業振り返りシート」に名前を変える。
- ・ 部会では、1～4 年までの動きを詳しく示す。
- ・ 「児童の意欲や、やっている動きが課題になる」ということが浸透していかない。
- もっと部会からも発信していく。
- ・ もとの動きに戻るのは、毎回でなくてもよい。4 時間目あたりにできたか確認する程度。今後の部会で検討。
- ・ 体力を高める運動との接続も検討。

○「よい動き」の表について

- ・ たまご型よりも花の方が分かりやすい。
- 花の形で作成し直す。真ん中にもとの動き・こつを書き、花びらに 5 つの工夫を書く。
- 「動きの質」ではなく、「動きの広がり」という言葉に変える。
- ・ 「よい動き」の表に書かれている こつ は、ポイント ではないのか？
- こつは個人の感覚、その子に合った違い、言語化させたもの。児童から発せられるもの  
ポイントは、運動構造上のもの。誰もが当てはまること。  
☆考え直すと、「よい動き」表に書かれているのは、「ポイント」→修正する。  
こつとポイントの違いを「よい動きの表」に載せる。

《実態調査（案）について》

- ・ 早急に常任理事の先生の許可をもらい、修正して実施する。

《次回までの宿題確認》

- ・ よい動き表（工藤）
  - ・ 授業振り返りシート（樋川）
  - ・ アンケート（田部）
  - ・ 指導案（田邨）
- ※授業振り返りシートのボール・輪についても今後作成する！

《担当常任理事の先生から》

- ・ 夏季合同研究の協議会では、部長ではなく、もっと部員が答えるべき。  
そのためには、研究内容を部員全員が理解し、共通理解をはからなければならない。
- ・ あきるの市の評価が低い。地区によっては、まだ体づくり運動への理解が不十分。
- ・ 夏季合同研究での意見を受けて、実証授業に備えていく。